

あるぎじちしんこうかい

有木

自治振興会



応援団の結成

有木自治振興会では、ふるさと保全に関心のある都市住民と地域との協働で農山村の河川や農道、農地の維持管理保全活動を行う、田舎応援団「あるぎ倶楽部」を平成18年に結成しました。



主な活動は、遊休農地を活用し、農業体験として約20種類の野菜を栽培。年々栽培面積も増えています。



ふるさと保全に関心のある都市住民と地域住民との協働

田舎体験しませんか

ここで栽培された農作物の一つ「トウモロコシ」は、イベント「田舎体験しませんか!!」へ提供されるとともに、イベントの支援も積極的にを行っています。



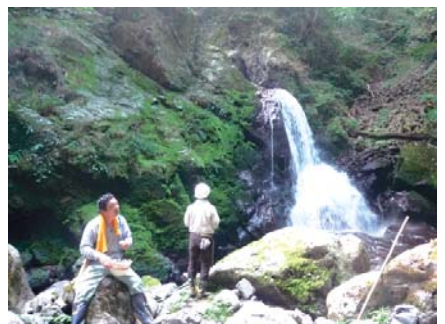
また、伝統工芸体験を通じた地元老人クラブとの交流や、一人暮らし高齢者の訪問支援を行い、福祉支援活動を行うなど、



都市部の住民の皆さんを「お客さま」ではなく、中山間地域の悩みを一緒に解決する新たな「パートナー」として、共生関係に位置付け活動しています。

青年女性層の集い

地域内の青壮年層の有志で構成する「有木中平を考える会」では、地域資源である「魚切り渓谷」の探検や、会員の憩いの場の提供として夏のビアガーデンを開催しています。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 有木自治振興会（会長：赤木隆富）
- 〔世帯数・人口〕 142戸・418人
- 〔人口構成〕 15歳以下6.9%、16～64歳45.2%、65歳以上47.9%
- 〔班構成〕 11班（中平、日ノ郷、宮尾、岩ヶ瀬、枇杷谷、仁吾上、仁吾下、猪鼻、牧迫、油屋上、油屋下）
- 〔組織構成〕 総務企画部、産業振興部、健康福祉部
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長2人、班長11人、部会長3人、事務局6人